

港町ミュージアム6 学習指導案

- 1 場所：教室
- 2 題材名：港町まるごとミュージアム
- 3 題材について

学習指導要領における第3学年及び第4学年の内容のB鑑賞には「ア 作品などのよさやおもしろさなどに関心をもって見るようにする。」とあり、さらに「イ 親しみのある美術作品や制作の過程などのよさやおもしろさなどについて、感じたことや思ったことを話し合うなどしながら見ること。」という内容が示されている。

これまでの鑑賞活動で児童は自分なりの感じ方、見方で鑑賞することを楽しんできた。鑑賞作品については、教師が選んだ美術作品、友だちの作品が主なものである。これらの活動を通して児童は作品の色や形・表し方の工夫などに視点を当てた見方や作品から発想した物語作りに取り組んできた。

本題材ではこれらの活動をさらに発展させ、自分が見つけた鑑賞対象について感じたことや思ったことを友だちとしっかりと話し合わせる。その活動を通して、自ら鑑賞対象を見つける楽しさや、それに対する自分なりの考えをもつことの楽しさを感じさせたい。また、友だちと話し合うことで自分が気づかなかった感じ方や見方に触れ、鑑賞がより深まることを実感させたい。

作品を選ばせるに当たっては、美術作品や児童作品のみならず、日頃愛着を持って使っている生活用品やお気に入りの景色、写真、広告など幅広く考え、気軽に鑑賞対象を選べるようにしたい。また、作品についての説明文や説明の仕方のヒントカードを用意することで話し合い活動への抵抗感を取り除きたい。

- 4 学習目標
 - ・ 身近な作品や造形物に関心をもつ。(1次)
 - ・ 自分や友だちが見つけた作品について話し合うことを通して鑑賞を深める。(2次)
- 5 学習の展開

1次

学習活動	指導上の留意事項() (「努力を要する」と判断した児童への指導の手だて)	評価規準 (評価方法)	準備物等
1 これまでの鑑賞経験を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 港町まるごとミュージアムにチャレンジしよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童作品，県立美術館の所蔵作品，図版や教科書掲載作品 ・ 立体作品，平面作品 ・ 造形作品，自然美 	これまで鑑賞した作品をできるだけ提示してできる限り多くの種類の作品を出させる。 鑑賞の対象が広がり，楽しく手軽に探せるように教師が例示を示す。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広告の写真の切り抜き（デザイン） ・ 児童作品のコピー 	鑑賞作品を捜すことに興味をもつ[造形への意欲・関心・態度] [鑑賞の能力] (行動観察)(発表)	これまでの鑑賞作品 学習カード 参考作品
2 好きな作品を見つけることに意欲をもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 造形上の特徴がある身の回りの物から「この絵はすてきななあ」「まるで絵のようだ」「まるで工作のようだ」と思 			



<p>うものを思い浮かべる。</p> <p>3 学習のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵葉書 など鑑賞カードの書き方を知らせる。 ・ 作品を見ての印象を大切にしながら自分なりのタイトルを考えることや色や形に視点を当てた紹介文，作品から思い浮かんだ物語を書くようにアドバイスする。 <p>次時は見つけてきた作品を友だち同士で教え合うことを知らせ意欲をもつ。</p>	
--	---	--

2次

学習活動	指導上の留意事項() (「努力を要する」と判断した児童への指導の手だて)	評価規準 (評価方法)	準備物等
<p>事前</p> <p>自分が好きな作品(対象)を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鑑賞カードに記入する。 <p>1 選んだ作品を紹介し合う。</p> <p>選んだ作品のことを友だちに教えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分がつけたタイトル ・ 作品を鑑賞して考えたこと ・ 紹介作品について友だちの見方や感じ方を聞き意見を交換する。 <p>2 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな鑑賞対象があることを知ることができたか。 ・ 友だちの意見を聞いて自分の見方や感じ方と比べるたり，深めたりすることができたか。 	<p>鑑賞カードの例を使って 鑑賞作品の見つけ方やカードの記入の仕方を紹介し，事前準備を呼びかける。余裕をもって選べ，できるだけ多くの対象に接する機会が持てるよう夏休みを利用させる。</p> <p>学習活動を「みつけた作品のことを友だちに伝えよう！ ギャラリートークにチャレンジ」と名付け，話し合いに対する意欲が高まるようにする。</p> <p>話し合いが進めやすいように作品紹介の進め方のやり方を示し，参考にしてもよい事を知らせる。全員がだれかに紹介できるようにまず，2人組みで紹介しあい，その後学級全体で話し合う。</p> <p>紹介しきれなかった作品については鑑賞カードの掲示や印刷で紹介することを知らせる。</p> <p>学習カードに記入させ自己評価させる。</p> <p>本時の鑑賞の中で一番気に入った作品や自分でも見つけられそうな種類の作品について記入するようアドバイスする。</p>	<p>鑑賞したい作品を選ぶことができる。[鑑賞の能力] [鑑賞カード]</p> <p>自分なりの見方で作品を鑑賞し感じたことや思ったことを発表する。[造形への関心・意欲・態度] [鑑賞の能力] (学習カード) (発表)</p>	<p>鑑賞カード</p> <p>実物投影機</p>

港町ミュージアム

見よう！感じよう！

～すてきなアート～

2まいのうち1まいは必ず
えらんだものや作品をじっくりスケッチ

4年1組

ははう。
(2まいとも写真や切りぬきには
しがい)

夏休み版

港町まるごとミュージアム

ワシントンやしや海と話している円形校舎

ここにスケッチしても
いいし、別の紙に
かいてはってもいい
です。



まず目の上には
はりません。
スケッチなどが
大きい時は
折ってください



空の青と海の青と校舎の青。3
つともらがう青なのにぴったりと
合っています。円形校舎はどっし
りとまっすぐのびているように上
へ上へと直線がつづいていきます。
ワシントンやしは、「ねえねえ…」
と手まねきしています。そして、
海が2人？の様子をにっこりと見
ています。ワシントンやしと円形
校舎の形や線をしっかりと見てかき
ました。円形校舎と海とやしの組
み合わせ方をくふうしました。

またのりの
す方を
くふうする。



105字
ここから以上書く

丸三から 広島県立美術館ワシトンの書き方もお手本になりますよ。

